



団体交渉の形骸化は許さない 第6回東京地区分会定期大会開催

12月10日、地本会議室において、第6回東京地区分会定期大会が開催された。会社のコロナ対策、ジョブローテーションやエルダー職場の問題など、職場での問題点が多く出された。各職場で会社に意見を言っているが、なかなか聞き入れてもらえない実態がある。この間の団交で会社側は「何かあったら現場で言ってください。風通しのよい職場をつくりたい」と度々回答してきたが、現場段階では意見を言っても聞いてもらえない現実がある。現場で意見を言ってもダメ、団交では「現場で言ってください」。いったい私たちはどこで意見を言えればいいのか。仲間からは怒りの声があがっている。今号ではその一部を紹介したい。

JESS職場

○昨年、大井町駅が全面委託になった。当初はJESSのプロパーに仕事を教えるため、JR本体から出向できていたが、戻しつつある。

○7月にコロナ感染した仲間がいる。一緒に仕事をしたメンバーにPCR検査を受けさせろ、と要求したが、会社は受けさせずに職場内の消毒だけで済ませた。消毒もきちんとした業者に頼んだほうがよいと思う。PCR検査も若い子は自腹で受けている。

○酔客が多く、対応に苦慮して精神を病んでいる仲間もいる。

駅職場

○ジョブローテーションで配転してきた仲間が会社に抗議すると、会社は「今は何でもやってもらう」と答えた。この間の配転は少しひどい。

駅職場

○職場に労働組合がないことを感じる今日この頃です。サービス労組の仲間とはよく話をする。仕事をしてもおもしろくないし、横のつながりもない。東労組が分裂して以降、明け飲みもなくなつた。職場に労働組合がない状況で、この先の不安が募るばかりだ。



討論では各職場から怒りの声が続々と

○職場はライフサイクルの仲間が多い。かなり不安に思っている。東労組が分裂していなければ、運動しようがしまいが、今年の春闘のような半額回答はなかったと思う。組織力は重要だ。

許せない実態から、要求実現に向け全力で闘おう！

次ページへつづく

前ページのつづき

エルダー職場

○支部の役員もJESS職場やエルダーが多くなってきた。エルダー先の交渉はどうなっているのか？昔からの課題だったが、労使の交渉の場を確立しなければいけない。支部や地本はどう考えているのか？

駅職場

○来年2月に組合員が自分だけになる。掲示板がとられてしまう。今まで掲示板はこまめに張り替えていたし、組合員ではなくても見てくれていた。国労組合員も一人の職場もあると思うが、出来るところから取り組んでいく。

○販売体制の見直し（券売機類の入れ替え）など、現場の意見を聞かずに進めてしまう。今まで出来ていたクレジット決済でのチャージなど出来なくなり、旅客から苦情を言われるケースが増えた。最近は何でも社員に周知せずに事が進められる。

東京支部第1回合理化対策会議が開催される

12月10日、東京支部において、東京支部第1回合理化対策会議が開催された。

これは、10月25日に支社から提案された「2021年度営業関係施策（その2）」について、急遽該当職場の代表に呼びかけて対応を協議したもの。上野駅、品川駅、池袋駅から代表者が集まり、岡部業務部長のもと議論をしてきた。

岡部業務部長は事前に各職場のホームの現場写真を撮影し資料を作成した。ITVも性能がよくなってきれいに映るようになってきているようだが、はたしてホーム要員を置かずに安全と言えるのか、が議論の中心となった。最終的には、乗務員の話しも聞いてみよう、ということで、12月13日に開催される支部分会長会議にも提起することとした。

先行して1月1日実施予定の池袋駅改札の要求書が出ているので、地本としても年内に団交を開催できるように進めているとのこと。他分会も早急に要求をあげてほしい旨が周知された。

池袋駅要求書

- 1, コロナ第5波もほぼ収束し、旅客の流動も戻ってきているが、改札場面でなぜ3徹減なのか、根拠を明らかにされたい。
- 2, メトロポリタン改札を終日無人化とする、とあるが、サービスの低下ではないか。現在も遠隔体制で補えない部分は、南口社員が足を運んで対応している。インターホン越しでは話しが通じない場面も多々あるが、会社はこのことを理解しているのか。ましてや南改札が1名減の3名体制では、労働強化になるのは明らかである。撤回すべきではないか。
- 3, 中央1改札はこの間、酔客対応、旅客トラブル、急病人対応などが多く、旅客も他の窓口とは比較にならないほど多いため4名体制をとってきた。何がどう変わったから3名体制となるのか、根拠を明らかにされたい。
- 4, 埼京・湘南新宿ラインホームは、ホームドアもない。改正後は立ち番要員を置かない、とのことだが、会社がこれで安全だと思われるなら、ご意見を伺いたい。

国労東京支部は、安全軽視、サービス低下を招く合理化には断固反対し、当面する諸行動を全力をあげて取り組んでいく。